



インターネットの普及によって、様々な金融取引が「いつでも・どこでも」自由にできる環境がより身近なものになりました。

中央ろうきんも発足して2年目を迎え、この春よりインターネットバンキング・モバイルバンキングの取り扱いを開始しました。

今月号で、その概要と申込方法についてご紹介します。

### ☆インターネット・モバイル バンキング☆

#### いつでも

窓口が開いていない時間や休日でも、24時間いつでも利用できます。

#### どこでも

窓口やATMに行かなくても、インターネットに接続できるパソコンや携帯電話さえあればどこでもOK。

#### 急なときでも

急に資金が必要になったときでも、営業日の所定時刻までに依頼すれば当日中に振替・振込処理ができます。

#### 安全・割安

最新のセキュリティシステムにより、安全な取引を実現しています。また、窓口やATMに比べて振込手数料はお得です。(年間利用料：¥1,050・消費税含む)

### ☆お申込方法☆

ろうきんに普通預金口座をお持ちの方なら、すぐに申込ができます。

まずは、窓口、電話、ろうきんホームページなどで、資料を請求していただき、申込書に必要事項をご記入の上、本人確認書類(運転免許書証・パスポートの写し等)を添付して、ろうきん宛に送付もしくは提出すればOKです。

(※申込書受付処理が終了後、ろうきんから取引開始時期等につて連絡があります。)

資料の請求や詳しいことは、

\*ろうきんホームページ <http://chuo.rokin.com>

\*フリーダイヤル 0120-86-6956  
(平日9:00~17:00)

まで、お問い合わせください。

### 編集後記

今、事務局でひそかなブームを呼んでいる“カスピ海ヨーグルト”。ダイエットや高血圧あらゆるものにいいらしい。役職員の健康を考えて(?)Sさんが株分けをしてくれた。生きているヨーグルトだと、実に怪!!!1さじのヨーグルトに牛乳をそそぐだけで簡単に作れてしまう。おまけに冷蔵庫が苦手だなんて!!!??

イ姉

最近の住基ネットのように、自らの意思と関係なく進む社会の変化に、人々は納得しているのだろうか。幸せとは何か、人々が元気がだせる社会とは何か、今こそ本当の変革が必要だ。

興味深いのは、日本では一人当たりの所得が、70年以降の20年間に約2倍に増加しているが、人々の幸福感はほとんど変化をしていないのである。

経済学者の分析では、幸福感は所得などの個人的条件よりも、自らの運命は自ら決められると感じられた時の方が、幸福度が高いというのである。

日経新聞に経済教室という連載記事がある。8月6日は林俊彦放送大学教授の「日本経済に低迷生む構造」というもので、人々の幸福度を分析したオランダの大学の研究が紹介されている。

せつねのびびり

前号では、最低賃金の制度について紹介しました。今月は、今年度の取り組みについて紹介します。

まずは「中央最低賃金審議会」から、各地方の最低賃金審議を円滑に進めるための「目安」が示されます。今年7月26日に「現行水準の維持を基本とし、額の目安は示さない」という目安が示されました。昨年までの「目安」は具体的な引き上げ額が示されていましたが、最低賃金改正を取り巻く情勢が厳しいことを受けて、金額ではなく考え方のみが示されたわけです。

次に、この目安を受けて「地方最低賃金審議会」が地域別最低賃金改正の審議を開始します。

本群馬県でも、今年のように厳しい経済情勢や具体的な額が「目安」として示されない状況の中で、群馬方式と呼ばれる労使協議方式(専門部会の前に労使会議を行う)によって、労働者側は「厳しいときこそ最賃によるミニマム基準が重要であり、なんとしても引き上げを!」、使用者側は「県内企業の存続を考えれば、最賃を引き下げるべき!」との主張をぶつけ合い、最終的には8月7日の群馬県最低賃金審議会において、現状維持の時間額644円で結審しました。

また、産業別最低賃金についても当該構成組合のご協力を得て、7月31日に群馬労働局へ現在群馬県で設定されている4業種の「最低賃金改正を求める申出書」を提出しました。こちらも8月7日の群馬県最低賃金審議会において、産業別最低賃金改正の必要性が確認されたので、今後改正審議に向けた取り組みが進められることとなります。

